令和７年度第１回若手リーダー研修会意見交換会まとめ

参加者			
日　付	令和８年　　９月　　10 日	時　刻	14：35　～　16：45
場　所	水産ビル８階 A 会議室		

件　名	テーマ：「経営・財務・人材」に関して

※人出不足・従業員・高齢化などについて

◎人材確保のため、タイミーの活用がある。

・タイミーは高齢者の応募が少なく、30～40 代の応募が多いので効果がある。

・タイミーは「酪農業界に興味はあるが接点がない層」にマッチングしやすい。

・タイミーは「みるだけタイミー」など敷居が低い。

・タイミーからの人には、主に粉づくりなどの軽作業を行ってもらっている。

→雇用の声掛け前に仕事ぶり・覚えの早さ等の適性を事前に知ることができる。

→働いた経験が活き、良い人材育成になる。

→地域の中で人手不足が緩和され、間接的に支えあう良い地域づくりになる。

◎従業員について

・従業員の人が気持ちよく仕事できるのも構成員次第にところがある。

・従業員から見て、世代交代による技術継承の必要性を感じる場面がある。
トラクターの運転、けん引など慣れた従業員から教わるメリットもある。

・家ではそれぞれのやり方があるが、センターで作業すると他の人の作業を見て効率化への気づきもある。

・今は先代たちが出てくれているから作業が足りているが、出てくれなくなったら畑仕事は作業が回るのか、この先の人手も検討が必要。

・牧草作業の人手は足りていない。

・3 日で辞めてしまう人もいる。離農したばかりの人を雇ったりしている。

・従業員は若めだが、オペレータは年配の人。

・本来目指すところは、外部作業は委託して、飼養管理に集中すること。

・前にきてくれた人、バイトになった人に求人を出している。

※代替わり

◎代替わり課題など

・代替わりして１年目なので、経営、財務についてはこれから習得していく。

・役員で止まる話もあるので、意思疎通を意識する。

・4 月からエージェント経由で製造に外国人を雇うなど始めている。

・頭数を増やしたいがエサに限りがある。

・規模拡大のためにいい土作りから行う。

・お金をかければいいものができるとは限らない。スラリー作りにも取組み中。

・世代交代したがらない場合、社長が次の代表者を指名か。

※講演を聞いて

・講演を聞いて、センター自体にお金を残す必要を感じた。

・現時点で『発展より維持』が共通の話題。しかし、維持は衰退につながるので家とセンターを『50:50』で頑張るのではなく、『100:100』でやる気概が重要。

・土作りや人作りも今後あらためて注力して頑張っていくきっかけとなりました。